

退職者 連合

ジェンダー平等推進の学習会を開催 ジェンダー平等の達成には社会経済構造 の改革が必要

日本退職者連合は3月6日、東京の連合会館大会議室で「ジェンダー平等推進のための第12回学習会を開催しました。学習会の講演テーマは「ジェンダー平等はなぜ後退してきたのか」で、講師は富山大学非常勤講師の斉藤正美さんです。「右派により後退したジェ



斉藤 正美 さん
富山大学非常勤講師。
博士(学術)。フェミニズム、メディア研究。
著書『社会運動の戸惑い—フェミニズムの「失われた時代」草の根保守運動』、『徹底検証 日本の右傾化』ほか。

ンダー平等」として、①選択的夫婦別姓制度が30年経っても実現しない(96年に国の法制審議会が選択的夫婦別姓制度を含む民法改正案を答申)、②委縮している性教育や「結婚・妊娠」奨励策によるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利、

「私のからだは私のもの」「産む・産まないは女性の自己決定」94年国際会議で決定)の抑圧、③避妊・中絶へのアクセスの制限、④性的指向・性自認および性的少数者に対する差別的な取り扱いを禁止する条例が全国の70を超える自治体で成立しているにもかかわらず、国では差別禁止ではなく、LGBT理解増進法にすら強烈な反対にあり、後退した内容になったこと、⑤トランスジェンダー女性に対する差別、⑥「慰安婦」を記念する碑や像などへの反対——を説明していま

は、性と生殖・家族について強い関心を持ち、保守的思想に基づいて政治活動をする宗教団体で、旧統一教会、日本会議などを指すようです。この勢力の右派運動は、「地方から政治を変えよう」と草の根運動を熱心に展開し、自民党右派(安倍派)の支持母体ですと述べていました。草の根運動とともに安倍政権の第1次では「男女共同参画基本計画」を後退させ、第2次では包括的性教育を否定し、「少子化対策」として官製婚活を自治体で展開させるなど政権の力で揺り戻しを推進してきました。

自民党右派の「家族」観は「個人主義」ではなく「家族主義」、「子育ては家庭で」、国家も「大きな家族」という「家族国家」観であって、「男尊女卑・戦前回帰ではない」「自助・自己責任を強調、コストパ(費用対効果)のよい国家」であると指摘。また、「家族基盤充実政策」(1980)から「官製婚活」まで自民党政権の政策はすべて「家族主義」で、「充実した家庭は日本型福祉社会の基盤」「家庭内自助による安全保障」「国家に負担にならない福祉モデル」家族主義との指摘がありました。

(会長 大山勝也記)

主張



「賃金構造維持分すら確保が難しい」という単組代表の悲痛な

多くの地方で平年より数日も遅れましたが、逆に春闘のペースは早く、大手の回答指定日の前から満額回答が相次ぎ、連合発表によると4月4日現在、平均賃上げ率5.24%と33年ぶりの高水準です。い

したがって今年の労組の頑張りは評価しつつも、来年はこういった一抹の違和感を払拭するような春闘を期待します。

JAMの安河内会長が朝日新聞の取材にこたえた3月29日付け記事の見出しは「帰ってきた春闘次が肝心」でした。

大手集中回答日の翌週、JAM埼玉の東部地区単組代表者会議が開催された。会場に向かう私が車窓から眺めた桜は、まだ3月19日だというのにすでに5、6分咲きだった。……

交渉経過報告が続きました。結果、この年は春闘の花は咲かず最悪のものとなりました。ひるがえって今年には桜も春闘も真逆でした。桜の開花は関東など

かにも「春闘満開」という感じが、そうとも言いきれません。というのは物価が上がる中、長期に低迷する日本経済を立て直す切札として、政府も日銀もそしてさすがの経団連もそろって「賃上げ」を合唱した結果であり、労働側が実力で勝ち取ったとは言いがたいからです。また、要求満額が相次いだことは、労働側の要求が遠慮しすぎだったのでは?と組合員から疑問をもたれかねません。そして大手と中小の格差も残りま

今春闘の意義は二つあります。一つは我われ労働組合の「失われた30年」の当初からの「賃上げしな」と景気は回復しない」という主張を、経営側も認めざるを得なくなってきたこと。遅きに失することはないが、もう一つは「価格転嫁」が今春闘の流行語となったこと。JAMが結成以来主張し続けたこの言葉を、労働界はもとより首相も経団連も、そして与野党問わず国会議員までも春闘を語るるとき必ず口にしました。まさしく画期的なことです。

満開!?の2024春闘 次が肝心! 「価格転嫁」 が流行語に

JAM埼玉シニアクラブ
会長 那珂通敏

岐阜

研修会開催
「3B体操で病気に
強い体をつくろう」

事務局長 井亦廣幸

JAM岐阜シニアクラブは3月23日、ワークプラザ岐阜にて、「3B体操で病気に強い体をつくろう」をテーマに公益社団法人・日本3B体操協会の柳原美穂指導員を講師にお招きし、23名が参加し第23回研修会を開催しました。

3B体操は、「健康で美しく、健康で安らかな心、健康で美しく老いる」を3大スローガンとしている健康体操です。3つの道具、ベル、ベルト、ボールを使用することから3B体操と名付けられています。また、音楽のリズムに合わせて飽きることなく楽しめる体操が特徴です。

研修会は、長澤会長の挨拶、ご来賓のJAM東海岐阜県連会長大宮会長に挨拶を頂いた後、柳原指導員より運動の重要性、有酸素性運動、質の良い食事の3つの必要性について講義を頂き、その後、①姿勢②呼吸法、③準備体操とストレッチ、④筋トレ、⑤有酸素運



動、⑥体をゆるめるプログラムで、ときには音楽を入

れながら実演を頂いた。最後に柳原指導員より実演した3B体操は、年齢を問わず、シニアの方でも気軽に、楽しく、体に無理なくできる体操です。今日は器具を使用しましたが、自分なりにアレンジし健康生活に役立てて下さいとの言葉がありました。拍手で研修会を閉会しました。

千葉
パークゴルフ
交流会を開催

事務局長 田中久弥

JAM千葉シニアクラブの第8回パークゴルフ交流会が4月10日に佐倉グリーンパーク(36ホール、パーク132)で12人の会員が参加して開催されました。

当日は朝8時半に現地集合、9時頃より4人1組ごとにスタートしました。天候は前日の台風のような天気から一転し、多少風があつ



たものの晴天天下でのプレーとなりました。前半18ホール終了時点で一旦休憩を挟み、午後1時には全員が36ホールを無事終了し、全長約2kmのコースですが1万歩以上歩き、日頃の運動不足解消とストレス発散に役立ちました。
プレー終了後はコンビニ弁当での昼食会でしたが、それぞれ珍プレー好プレーの思い出話に盛り上がりました。続いて表彰式が行われ、田中久弥事務局長が10アンダーで優勝、第2位にクボタの武田正憲さん、第3位に大淵輝夫副会長がはいりました。また昨年ホールインワンが3人出ましたが、今回は長岡功会長が唯一のホールインワンを記録しました。
最後に、長岡会長から締め挨拶と来年の再会を約束して閉会しました。

シニア
共済

加入者数・加入口数とも横バイが続く
移行時の丁寧な加入促進活動を

2024年4月1日現在の総加入者数は114,544人。これは期首比で99人増え、口数では212口の増となりました。
ここ6、7年ほどは横ばいが続いています。タイプ別では総合と入院重視の比率3対1に大きな変化はみられません。

月次の新規・脱退の推移をみると9月と3月に新規が増えています。これはふれあい共済からの継続月の関係です。逆に10月に脱退者が多くなっていますが、8月頃に変更届が通知される関係で、この際脱退という方が増えるものと思われる。

また給付は、1555件、総額1億6331万円となり件数・金額ともに前年同期より減少しています。特に病气入院による給付の減少が顕著です。
シニア組織の柱として定着したシニア共済をよりよいものにしていくためにも、現役とともに丁寧な移行時の加入促進活動や制度内容の見直しを進めていくことが求められます。

シニア共済加入状況

2024.4.1現在

出身共済	2024年4月1日現在			2023年7月1日現在			増減		
	人数	総合口数	入院重視口数	人数	総合口数	入院重視口数	人数	総合口数	入院重視口数
ハート共済	362	556	292	360	563	290	2	-7	2
ふれあい共済	8,315	25,789	7,256	8,162	25,331	6,948	153	458	308
個人生命・医療	2,449	5,196	3,508	2,487	5,247	3,586	-38	-51	-78
移行・特別処置	328	467	294	352	503	314	-24	-36	-20
合計数	11,454	32,008	11,350	11,361	31,644	11,138	93	364	212

※加入状況の推移

	2023年						2024年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
加入人数	11,361	11,386	11,492	11,356	11,341	11,333	11,266	11,249	11,510	11,454			
新規		50	124	13	12	13	10	12	271	20			
脱退		25	18	149	27	21	77	29	10	76			
前月との増減		25	106	-136	-15	-8	-67	-17	261	-56			

2023年7月期首との比較

93

シニア共済給付状況

2023年7月1日～2024年3月31日

共済名	給付項目	件数	給付金額 円	年間支出予算 円	本年度 予算対比 %	前年度 同月比 %	前年度同月実績		
							件数	給付金額 円	
シニア共済	交通事故 死亡	0	0	332,000,000	49.2	0.0	1	6,000,000	
	" 障害第1級	0	0				0	0	
	不慮事故 死亡	1	2,000,000				0	0	
	" 障害第1級	0	0				0	0	
	病气 死亡	105	63,200,000				99.8	88	63,300,000
	" 障害第1級	2	5,500,000				733.3	1	750,000
	小計	108	70,700,000				100.9	90	70,050,000
	障害	0	0				0.0	0	0
	災害	67	8,942,000				203.2	64	4,400,500
	入院 病气	1,380	83,667,500				75.5	1,899	110,848,500
小計	1,447	92,609,500	80.4	1,963	115,249,000				
シニア共済 計	1,555	163,309,500	332,000,000	49.2	88.1	2,053	185,299,000		